

平成 27 年度事業計画

本事業計画は定款第 38 条により平成 26 年度第 6 回理事会で承認し、内閣府に 3 月 26 日に届け出たものであります。届け出後に確定した日程等を加筆してあります。

公益社団法人日本栄養・食糧学会 平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）事業計画

<基本方針>

公益社団法人に相応しい社会に貢献する学術法人として、理事会が中心となって、目的とする公益事業推進のための体制を構築し、維持し、改革を進める。

学会運営としては、更なる公益事業の推進と財政基盤の安定化のため、税法上の特定公益増進法人であることを生かし、各事業における収入源を確保していく。

公益目的事業の展開のうち、まず栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業として以下を行う。第 69 回年次大会を第 12 回アジア栄養学会議（12th ACN）と合同で、横浜市において開催する。基本的に使用言語を英語とし、要旨集も英語となるが、昨年度大会に引き続き、講演要旨を Web 公開するなど、参加者の利便性を高める。また、支部大会およびシンポジウム等を各支部における相応しいテーマ、効率のよい開催方法のもとに関連学会とも連携を図りつつ開催する。

国際的活動については、12th ACN の準備を遺漏なく進め、これを成功させることにより、学会としての国際性を高め、各国の関連学会との連携を強化する。また、平成 33 年に東京での開催が決定している第 22 回国際栄養学会議（22nd ICN）の準備を 12th ACN 主催の経験を活かしつつ、日本学術会議および他学会等との連携のもとに開始する。

栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業の展開については、学会誌、欧文誌の刊行を通して人々の健康・福祉の向上に寄与する。日本栄養・食糧学会誌の定期的刊行を継続するが、学会誌編集業務のさらなる効率化を図る。欧文誌 JNSV においては、日本ビタミン学会と協議しながら編集業務を進め、欧文誌としての更なる国際化を図るとともに、会員に購読協力を呼びかけ、採算基盤の強化を図る。

これら事業展開は、各委員会により効率よく進めるものとする。

公益目的事業を維持しつつ新制度に対応していくために、理事会の活動を強化し、当学会の今後の進路を明確にする。また、利益相反（COI）委員会で、当学会に相応しい COI 制度を検討し、実施する。

昨年度新設した日本栄養・食糧学会技術賞を第 69 回大会より授賞するが、これを定着させ、産官学連携の一層の充実を目指す。以上の基本方針のもとに、下記事項を推進する。

I 学会運営および会員サービスの更なる基盤強化

- 1) 公益法人認定法に基づく公益事業推進体制の充実
- 2) 理事会のガバナンスの強化による学会運営の改善
- 3) 日本栄養・食糧学会技術賞の定着と、産官学連携の一層の強化
- 4) 当学会に相応しい利益相反（COI）体制の検討と実施
- 5) 寄付金の積極的受け入れと、寄付金税額控除法人申請準備
- 6) 学生会員ならびに若手会員の活性化と新入学生会員の負担軽減措置の継続
- 7) 大会講演要旨集の Web 公開の定着とデータの蓄積

II 各種事業活動の推進

<栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公 1）>

1) 大会事業の推進

(1) 第 69 回日本栄養・食糧学会年次大会、第 12 回アジア栄養学会議（12th ACN）の合同開催

・第 69 回日本栄養・食糧学会年次大会
会頭 鈴木 和春 東京農業大学教授

・第 12 回アジア栄養学会議（12th ACN）
組織委員長 宮澤 陽夫 東北大学大学院教授
期日 平成 27 年 5 月 14 日（木）～5 月 18 日（月）

会場 神奈川県横浜市：パシフィコ横浜

- ①基調講演 5 題
- ②教育講演 13 題
- ③シンポジウム 48 テーマ
- ④市民公開講座

期日 平成 27 年 5 月 16 日（土）

(2) 支部事業（発表・講演会・シンポジウム等）の推進

①北海道支部

- i) 第 45 回日本栄養・食糧学会北海道支部大会
期日 平成 27 年 10 月 24 日（土）、25 日（日）
会場 東北大学農学部

- ii) 公開シンポジウム
期日 平成 27 年 10 月 24 日 (土)
会場 東北大学農学部
日本栄養・食糧学会東北支部と合同大会

②東北支部

- i) 第 49 回日本栄養・食糧学会東北支部大会
期日 平成 27 年 10 月 24 日 (土)、25 日 (日)
会場 東北大学農学部
- ii) 公開シンポジウム
期日 平成 27 年 10 月 24 日 (土)
会場 東北大学農学部
日本栄養・食糧学会北海道支部と合同大会

③関東支部

- i) 第 96 回日本栄養・食糧学会関東支部大会
期日 平成 27 年 9 月
会場 新潟大学農学部
- ii) 第 18 回脂質栄養シンポジウム
期日 平成 28 年 2 月予定
会場 未定
- iii) 第 97 回日本栄養・食糧学会関東支部シンポジウム
期日 平成 28 年 3 月予定
会場 東京大学

④中部支部

- i) 第 68 回日本栄養・食糧学会中部支部大会
期日 平成 27 年 7 月中旬予定
会場 静岡県立大学
- ii) 第 69 回日本栄養・食糧学会中部支部大会
期日 平成 27 年 11 月下旬予定
会場 静岡県立大学

⑤近畿支部

- i) 第 54 回日本栄養・食糧学会近畿支部大会
期日 平成 27 年 10 月 10 日 (土)
会場 神戸大学
- ii) 市民公開シンポジウム
期日 平成 27 年 10 月 10 日 (土)
会場 神戸大学
- iii) 第 6 回栄養学をめざす若手のためのフォーラム
期日 平成 27 年 10 月 11 日 (日)
会場 神戸市内
日本栄養改善学会近畿支部共催

⑥中国・四国支部

- i) 公開講演会
期日 平成 27 年 10 月 31 日 (土)
会場 広島メルパルク
- ii) 第 48 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会
期日 平成 27 年 10 月 31 日 (土)、11 月 1 日 (日)
会場 広島女学院大学、広島メルパルク

⑦九州・沖縄支部

- i) 第 69 回日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部大会
期日 平成 27 年 10 月 30 日 (金)、31 日 (土)
会場 沖縄県那覇市
日本食品科学工学会西日本支部と合同大会

2) 表彰事業の推進

- (1) 平成 27 年度表彰授与式開催（平成 27 年度総会時）
功労賞 1 件、学会賞 2 件、奨励賞 2 件、技術賞 2 件
- (2) 平成 28 年度対象各賞選考の実施
各種授賞等選考委員会開催（平成 27 年 12 月）
功労賞 3 件以内、学会賞 3 件以内、奨励賞 3 件以内、技術賞 2 件以内の推薦
- (3) 外部団体への授賞推薦の推進
年間スケジュールの公開と更新の実施

3) 助成・助成推薦事業の推進

- (1) 支部大会事業活動の支援
- (2) 基金交付対象の選考の推進
- (3) 外部団体への助成推薦の推進
学会誌等へ掲載しその公示をタイムリーに行う。

4) 栄養・食糧科学に関する研究・調査事業

- (1) 栄養成分表示・栄養教育の検討
日本並びに諸外国（含む地域）における栄養成分表示の現状・動向を調査する。
- (2) 栄養・食糧学用語に関する検討
用語委員会において、栄養・食糧学用語に関する検討を行う。

5) 国際交流事業の推進

- (1) 第 12 回アジア栄養学会議（12th ACN2015）の開催
12th ACN 組織委員会を中心にその準備は順調に進んでいるので、計画通りに 12th ACN2015 を開催する。
- (2) International Union of Nutritional Sciences (IUNS) 関係
日本学術会議 IUNS 分科会と連携し、第 22 回国際栄養学会議（22nd ICN2021 東京）の準備体制を整えるとともに、第 21 回会議（21st ICN2017 アルゼンチン）で求められる状況報告の準備に着手する。
- (3) International Union of Food Science and Technology (IUFoST) 関係
IUFoST Japan と連携しその事業を支援する。
- (4) 海外関連学会との連携
国際学術団体との連携を図る。

6) 倫理審査事業の推進

- (1) 迅速な審査体制の確立と実施

< 栄養科学並びに食糧科学の情報の活用推進と普及事業（公 2） >

1) 出版事業の推進

- (1) 日本栄養・食糧学会誌の刊行
第 68 巻 2 号～6 号、第 69 巻 1 号を定期的に刊行する。
- (2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JNSV) の刊行
日本ビタミン学会との共同編集で、Vol. 61-No. 2～No. 6、Vol. 62-No. 1 を定期的に刊行する。
各国の関連学会との連携を強化しつつ、欧文誌としてさらなる国際化を図る。

2) 広報事業の推進

- (1) 会員向けメールマガジン栄食ニュースの充実と定期発信
- (2) 関連学術団体、関連機関との連携及び依頼記事の広報推進
- (3) ホームページの刷新と告知・掲載記事に関し、确实、迅速な更新の実施

Ⅲ 総会、理事会等の開催（予定）

1) 定例社員総会	定例社員総会	平成 27 年	5 月 14 日	(木)
2) 理事会	第 1 回理事会	平成 27 年	4 月 25 日	(土)
	第 2 回理事会	平成 27 年	5 月 13 日	(水)
	第 3 回理事会	平成 27 年	7 月 11 日	(土)
	第 4 回理事会	平成 27 年	10 月 31 日	(土)
	第 5 回理事会	平成 28 年	1 月 23 日	(土)
	第 6 回理事会	平成 28 年	3 月 19 日	(土)
3) 業務執行理事打合せ	第 1 回業務執行理事打合せ	平成 27 年	7 月 4 日	(土)
	第 2 回業務執行理事打合せ	平成 27 年	10 月 24 日	(土)
	第 3 回業務執行理事打合せ	平成 28 年	1 月 9 日	(土)
	第 4 回業務執行理事打合せ	平成 28 年	3 月 12 日	(土)
4) 栄養・食糧懇談会		平成 28 年	2 月 13 日	(土)
5) 名誉会員・終身会員推薦委員会		平成 28 年	1 月 9 日	(土)
6) 名誉会員・顧問懇談会		平成 27 年	4 月 4 日	(土)
7) 各支部の参与会		支部大会にて		

Ⅳ 委員会活動

1) 常置委員会

①各種授賞等選考委員会	(規程により委員は非公開)
②学会活動強化委員会	(委員長 池田 郁男)
③倫理審査委員会	(委員長 田中 明)
④広報委員会	(委員長 金本 龍平)
⑤国際交流委員会	(委員長 下村 吉治)
⑥日本栄養・食糧学会誌編集委員会	(委員長 田中 明)
⑦JNSV 誌編集委員会	(委員長 金沢 和樹)

2) 非常置委員会

①栄養成分表示・栄養教育検討委員会	(委員長 山田 和彦)
②第 12 回アジア栄養会議 (12th ACN2015) 組織委員会	(委員長 宮澤 陽夫)

3) 定款第 35 条 2. による委員会

①中央選挙管理委員会	(委員長 五十嵐喜治)
②日本栄養・食糧学会あり方検討委員会	(委員長 近藤 和雄)
③利益相反 (COI) 委員会	(委員長 吉田 博)
④用語委員会	(委員長 松井 徹)